



一般  
社団  
法人

大学コンソーシアムひょうご神戸通信

Vol.4

発行：平成29年4月15日

関西国際大学  
人間科学部経営学科  
セーフティマネジメントコース

# 学校・学部紹介

災害や犯罪など多難な社会において、「安全・安心」な社会づくりに貢献できるリーダーを育てる専門コースが2017年4月よりスタートします。このコースでは、企業の危機対応や食品流通管理の責任者、消防職員・警察官などを目指す学生が実践的なスキルを身につけることができ、兵庫県広域防災センターをはじめとした県内の危機管理等専門機関とのネットワークや恵まれた立地を存分に活かしたカリキュラム構成が特長です。危機管理の一般的な知識だけでなく、防災機関や協力企業との共同研究やインターンシップも充実しています。

「安全・安心」に関するマニュアルは多く作成されていますが、それを実際に活用し、現実の課題に沿って改訂するための知識や経験が必要です。まわりの協力を得ながらも、必要ときには勇気をもって決断する人間力も必要です。阪神・淡路大震災の被災地にある大学だからこそ、の教育がここにあります。



## 兵庫県教育史エピソード【第4回】

戦後の教育改革は大学制度にも大きな変化をもたらした。昭和二十一年にアメリカ教育使節は、日本の大学に、民主主義自由主義の拠点として大きな期待をかけた。その充実と増設を勧告していた。

戦後生まれた新制大学は、旧制大学が「国家ニ須要ナル学術ノ理論及応用ヲ教授シ並ニ其ノ蘊奥ヲ攻究スルヲ以テ目的」としていたのに対し、一般的教養を重視した点に特色があった。官史養成機関の観があった旧帝国大学に對して、高度の市民的教養を強調したことは、大学の大きな性格転換といわねばならない。

新制大学を四年制として昭和二十四年度から発足させることは、二一年一二月の教育刷新委員会ですでに決定していたのであるが、特別の運動があつて、昭和二十三年に全一國で二の新制大学が発足した。そのなかに兵庫県関係として私立関西学院大学・私立神戸女学院大学・私立神戸商科大学の三大学がふくまれていた。



【記事出所元】  
著作名：兵庫県教育史  
引用頁：七八七〜七八八頁  
発行年：昭和38年11月1日  
発行者：兵庫県教育委員会

その他一般新制大学から発足したのは、昭和二十一年に、県下においては、立神戸大学・県立姫路工業大学・立外国語大学・立神戸女子薬科大学・立神戸女子大学等が開校された。また昭和二十七年には国立神戸商船大学が設立された。

### ☆☆ 編集後記 ☆☆

今回のVol.4で大学コンソーシアムひょうご神戸の活動の1年間をカバーすることになりました。振り返りますと留学生を対象としたインターンシップを始め、就職支援活動、ボランティア活動、更には昨年10月から始まった日本学生支援機構との連携による活動と数多くのイベントを実施してまいりました。来る平成29年度も積極的な事業推進を通じて加盟校、関係先、地域の全ての方のお役に立てるよう行動してまいりたいと考えています。

発行責任者：阿久根 昌夫

### ==連絡先==

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸  
〒651-0072  
兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8  
兵庫国際交流会館1F

TEL:078-271-0233 FAX:078-271-0244  
E-mail:info@consortium-hyogo.jp  
ホームページ:http://www.consortium-hyogo.jp  
Facebook:https://facebook.com/consor.hyogo.kobe/

## 平成29年度理事体制と事業計画が決まる

**新理事長に甲南大学  
長坂悦敬学長が就任**

大学コンソーシアムひょうご神戸の第4回理事会が平成29年2月24日(金)に開催され平成29年度の理事体制と事業計画が承認されました。

平成29年度の新理事長には甲南大学の長坂悦敬学長が就任することになりました。併せて神戸大学の武田廣学長、関西学院大学の村田治学長の2名が就任することになりました。

同時に平成29年度の事業計画が承認されました。一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の定款第7章第40条の「この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならぬ。これを変更する場合は同様とする。」に基づきます。

4事業委員会の事業計画はいずれも平成28年度の実績を継承・発展させると共に国際交流委員会の「兵庫県英語プレゼンテーション・コンテスト」、研修交流委員会の「大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンク」などの新しい試みにも積極的にチャレンジしてまいります。

### 国際交流委員会

- 【目的】  
「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。
- 【実施プログラム】
- ①留学生支援プログラム (ひょうご留學生 インターンシップ)
  - ②模擬国連演習 (JUNJUN)
  - ③学生派遣プログラム (フィンランド研修旅行 (保育教育分野))
  - ④医療系プログラム (フィールドワーク型学生海外派遣プログラム (医療検査コース・看護コース))
  - ⑤CCC Global Career Seminar in Japan Offered by Cross-Cultural College (平成23年度 文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採用プログラム)
  - ⑥兵庫県英語プレゼンテーション・コンテスト
  - ⑦県内企業海外事業展開に係る留學生生活用事業

### 学生交流委員会

- 【目的】  
学生プロジェクト事業、神戸市社会福祉協議会・ひょうごボランティアプラザ共催学生ボランティア事業、日本財団学生ボランティアセンター協働 防災・災害復興支援学生ボランティア育成事業の3つの事業により、コンソ加盟大

### 研修交流委員会

- 【目的】  
大学単独では提供しにくい多様な課題について、教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的かつ多目的に提供する。県下の大学等高等教育機関、民間企業関係者に研修交流の機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が創出される。
- 【実施プログラム】
- ①加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
  - ②コンソーシアム加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する説明会等の開催
  - ③大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンク

### 教育連携委員会

- 【目的】  
県下大学の教育事業についての相互連携や高大連携の推進、教育資源活用に関する相乗効果を図る。教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学習動機と学習意欲の強化、教育効果の向上を目指す。学生が所属大学の垣根を越えた学びに対し、単位認定の道を開くことで、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。
- 【実施プログラム】
- ①単位互換事業 (単位互換プログラム)
  - ②高大連携事業 (ひょうご高校大学コンソーシアム)
  - ③就職支援事業 (大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職支援)



月/日	イベント名	場所
1月 7日 (土)	キャリア100人会議 (学生)	兵庫国際交流会館
1月 8日 (日)	留学生のOB・OGを囲む「車座懇談会」	兵庫国際交流会館
1月13日 (金)	教職員向けセミナー・情報交換会	兵庫国際交流会館
1月27日 (土)	キックオフシンポジウム①「留学交流を通じた多文化共生」	兵庫国際交流会館
2月14日 (火)	兵庫県優良企業訪問 播磨方面バスツアー (教職員、学生)	西脇市、高砂市
2月18日 (土)	合同模擬グループディスカッション・情報交換会	兵庫国際交流会館
2月25日 (土)	神戸就活交流会 (学生)	神戸市産業振興センター
2月25日 (土)	キックオフシンポジウム②「多文化共生と防災・減災」	兵庫国際交流会館
3月13日 (月)	留学生と日本人学生が共に学ぶ防災ワークショップ	兵庫国際交流会館
3月25日 (土)	兵庫県中小企業家同友会加盟企業による合同企業説明会	神戸サンボーホール

◆◆◆ 国際交流拠点推進事業(G-Navi)をキックオフ ◆◆◆

◆キックオフシンポジウム①「留学交流を通じた多文化共生」  
 ◆平成29年1月27日(金)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 国立国語研究所准教授の野山広氏が「多様性を意識した地域日本語教育の展開と留学生の存在の重要性」について基調講演。人口減少と外国人定住者の増大、留学生政策の展開を背景に、異なる言語や文化、価値観を持った人々のコミュニケーションの課題、地域の役割について言及。個別講演は「外国人児童支援(神戸大学国際教育総合センター)」、「多文化理解(北海道大学国際教育研究センター)」、「地域外国人支援(ABI)が事例を紹介しました。



■教職員向けセミナー「留学生が学ぶ大学・留学交流」

◆平成29年1月13日(金)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 12大学の教職員と行政・団体9組織から45名が「留学生が学ぶ大学・地域」留学交流」をテーマに集まりました。第一部は神戸大学名誉教授 水野マリ子氏が「地域連携の可能性から見た留学生」大学における日本語教育を中心」と題して講演。第二部は、神戸学院大学、兵庫県立大学、甲南大学による留学生支援やグローバル人材育成教育プログラムの事例が発表され、参加者が顔合わせして自己紹介等を行いました。

◆留学学生と日本人学生がともに学ぶ防災ワークショップ  
 ◆平成29年3月13日(月)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 兵庫県立大学U2C(災害看護グローバルリーダープログラム)の大学院生5人がワークショップを実施。留学生と日本人学生15名が会場周辺を巡り、消火栓、避難場所等を発見・記録するまち歩きに挑戦。その後のグループワークでも意見交換、学び合いました。次年度も企画しているので、お楽しみに！



■キックオフシンポジウム②「多文化共生から始まる防災・減災・復興-阪神・淡路大震災の教訓と熊本地震」

◆平成29年2月25日(土)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 日本学生支援機構理事長の遠藤勝裕氏の基調講演では、阪神・淡路大震災の発災当時、遠藤氏が日本銀行神戸支店長として対応した大災害時の危機管理と今に生きる教訓を語り継ぎました。パネルディスカッションでは、長田区を拠点に被災地支援に取り組む、まち・コミュニケーション代表理事の宮定章氏、熊本地震で被災した熊本市国際「KEED」の留学生2名と熊本市国際交流振興事業団次長の勝谷知美氏、遠藤氏の5名が留学生への災害支援と日常の備え、まちの復興について意見を交換しました。129名が参加。

♡♡♡ 就職活動支援イベントを続々と開催 ♡♡♡

大学コンソーシアムひょうご神戸ではこの3月より始まった就職活動を側面から支援するため、多彩な支援イベントを開催しました。  
 ■キャリア100人会議  
 ◆平成29年1月7日(土)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 留学生5名を含む14名の学生と4企業の人事関係者9名の参加を得て開催しました。①参加企業紹介 ②グループワーク ③パネルトークの3部構成で行いました。特にグループワークでは架空の学生エントリーシートを使い「企業が採用するとすればどの学生か」を議題に討議が行われ、資料をよく読み込み、企業の採用基準をしっかりとヒヤリングすることで具体的な人物像を描くことが出来ていました。  
 ■留学生GOB・OGYS「車座懇談会」  
 ◆平成29年1月8日(日)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 8大学14名の留学生が留学生のOB・OGを囲み日本の会社で就職した感想、就活時の苦労話等を話題に「車座懇談会」を行いました。



☆☆☆ ボランティア活動報告 ☆☆☆

大学コンソーシアムひょうご神戸主催「全国学生ボランティア交流フォーラム」が開催されました。  
 全国からボランティア経験のある学生、22大学45名が平成29年2月15日から17日に神戸に集まり、3日間にわたりプログラムが開催されました。阪神淡路大震災から22年経つ神戸での知見を関係者とのディスカッションからより深く学び、今後の東北、熊本でのボランティア活動に繋げる機会を提供できたと考えます。また、参加者アンケートでは、フォーラムへの参加について、大変満足、満足が97%を占めるなど、参加学生から満足度の高い評価を得ることができました。

最終日には、「この3日間の活動を今後東北・熊本の復興にどのようにつなげるか」という課題に、東北や熊本、首都圏、関西圏など各地域に分かれて話し合い、活発な意見交換がなされました。  
 東北・熊本の復興につなげるとともに、今後起こりうる被災地の支援活動の在り方についても考えることができ、全国の学生がつながるきっかけづくりができたフォーラムとなりました。



車座懇談会



■兵庫県優良企業訪問 播磨方面バスツアー

◆平成29年2月14日(火)  
 ◆訪問企業  
 ・(株)ユタックス(西脇市)  
 ・神戸鉾金工業(株)(高砂市)  
 ・日本テックノロジーソリューション(株)(高砂市)  
 6大学10名の学生と4大学4名の教職員が参加してバスツアーを行いました。訪問した3企業共に代表者より企業の理念、目指す将来の姿等について話を聞くことが出来ました。同時に若手社員を囲んだ懇談会もあり、参加した学生、教職員共訪問することでしたか知らない会社社風、雰囲気を感じることが出来ました。



4月・5月・6月のイベント紹介

月/日	イベント名	場所
5月30日 (火)	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 定時総会	兵庫国際交流会館
6月10日 (土)	ひょうご留学生インターンシップ ・推薦学生ガイダンス (説明会)	兵庫国際交流会館
6月15日 (木) ~17日 (土)	・事前面談	兵庫国際交流会館 (予定)
6月17日 (土)	・日本語能力試験N1集中講座	兵庫国際交流会館 (予定)

■合同模擬 グループディスカッション

◆平成29年2月18日(土)  
 ◆兵庫国際交流会館  
 13大学より70名が参加して合同模擬グループディスカッションを行いました。近年、企業は採用に当たり、従来の筆記試験、集団面談、個人面談に加え、対人能力を把握するため、グループディスカッションを取り入れてきています。この新しい採用方法に備える為、模擬グループディスカッションを実施しました。  
 企業より10社16名、大学より12校12名の協力を得ることができました。「グループディスカッションで採用者は何をみたいか?」「親が資産家でも金には不自由しないなら、大学は出ても働かないという結論はありか、なしか?」のテーマで熱心に討論が行われました。

■神戸就活交流会

◆平成29年2月25日(土)  
 ◆神戸市産業振興センター  
 10大学56名の学生、23社25名の企業の方、4校4名の大学教職員など総勢88名が一堂に会し就活交流会を行いました。グループワークを通じて学生は企業の方からの「もっと大きな声で話さない」と面接官に届かない「或いは「会社が何を期待しているのかまで考えて討論しよう」など厳しい意見の中から今後の活動に役立つアドバイスを数多く得ることが出来ました。  
 その後開かれた交流会では、キャリアを積まれた企業の方と意見交換することで就職により前向きに取り組んでいこうとする姿が見受けられました。